

# LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

## 交付運用報告書

第156期(決算日2021年10月13日) 第157期(決算日2021年11月15日) 第158期(決算日2021年12月13日)  
第159期(決算日2022年1月13日) 第160期(決算日2022年2月14日) 第161期(決算日2022年3月14日)

作成対象期間(2021年9月14日~2022年3月14日)

第161期末(2022年3月14日)	
基準価額	3,177円
純資産総額	23.687百万円
第156期~第161期	
騰落率	11.7%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」は、2022年3月14日に第161期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

### お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

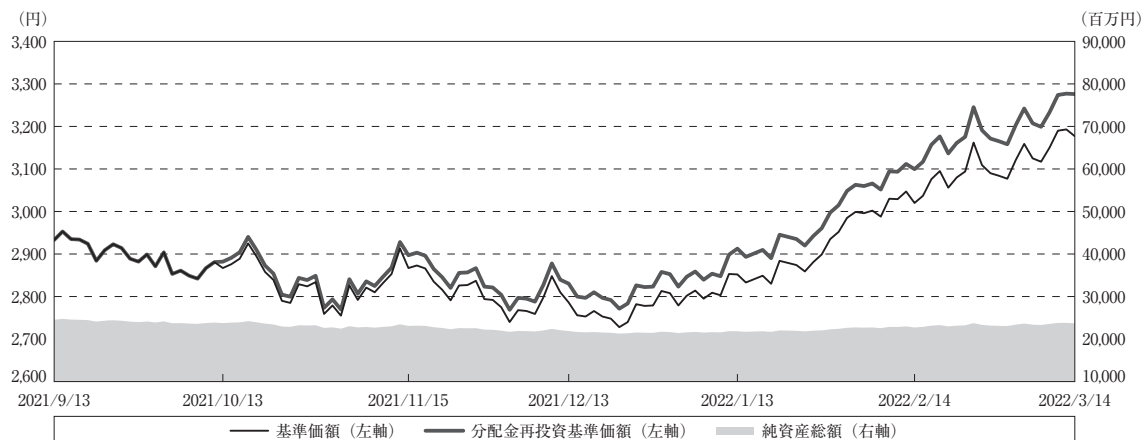
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2021年9月14日～2022年3月14日）



第156期首：2,933円

第161期末：3,177円（既払分配金(税込み):90円）

騰落率：11.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年9月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

ブラジルリアル高・円安を反映して、為替損益がプラスとなったほか、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから公社債利金を手堅く確保しました。一方、債券利回りの上昇を受けて、公社債損益はマイナスとなりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2021年9月14日～2022年3月14日）

項 目	第156期～第161期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	24	0.850	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(12)	(0.411)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(12)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.095	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	( 2)	(0.086)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 0)	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	27	0.945	
作成期間の平均基準価額は、2,878円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

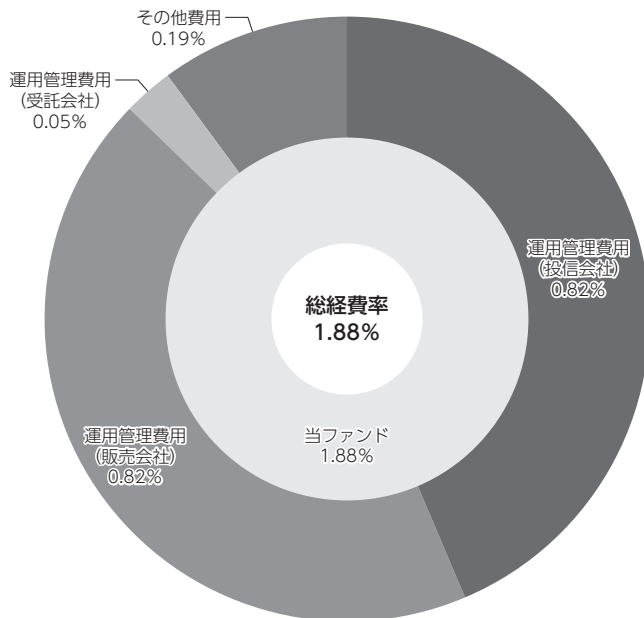
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

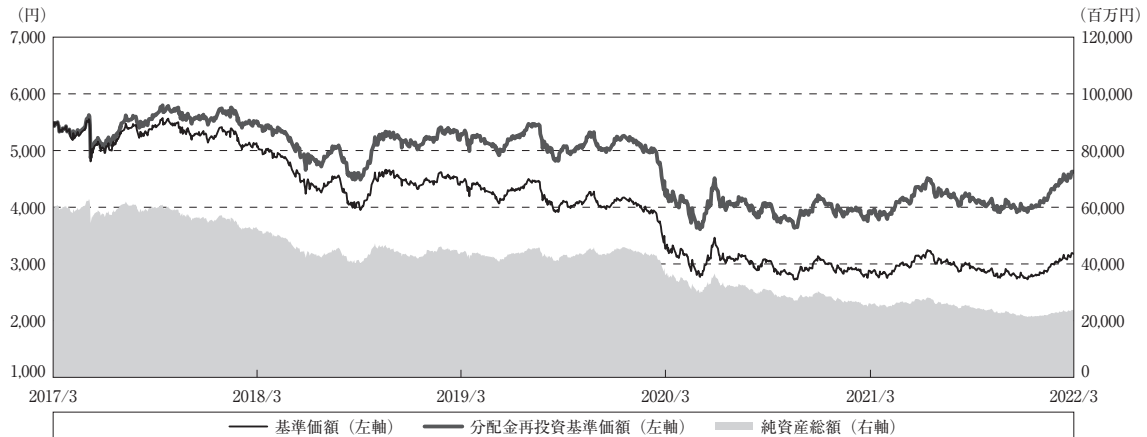
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2017年3月13日～2022年3月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年3月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年3月13日 決算日	2018年3月13日 決算日	2019年3月13日 決算日	2020年3月13日 決算日	2021年3月15日 決算日	2022年3月14日 決算日
基準価額 (円)	5,486	5,063	4,449	3,267	2,872	3,177
期間分配金合計(税込み) (円)	-	420	420	320	190	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 0.1	△ 3.5	△ 20.6	△ 6.4	17.6
純資産総額 (百万円)	60,049	52,264	44,053	36,014	26,030	23,687

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## 投資環境

（2021年9月14日～2022年3月14日）

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、インフレを懸念するブラジル中央銀行（BCB）のタカ派的な金融政策を背景に利回りは下支えされました。その後、インフレが高止まる中、財政規律に対する懸念などから、利回りの上昇に拍車がかかりました。

期の半ばは、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の感染拡大や景気回復に対する懸念から利回りは低下（価格は上昇）する局面も見られましたが、インフレの高止まりを背景にBCBが利上げ継続の姿勢を見せたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策変更前倒しの見通しにより米回国債利回りが上昇したことなどから、ブラジル国債利回りも下支えされました。

期の後半は、干ばつの影響や財政赤字に対する懸念およびFRBの金融政策におけるタカ派的な姿勢が利回りを下支えする中、BCBは利上げを継続しました。ウクライナ情勢の悪化に伴い、世界的にリスク回避の動きが強まったことなどから利回りは低下する局面も見られましたが、資源価格の急騰によりさらなるインフレが懸念されたことなどから、利回りは上昇しました。

当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、BCBの利上げ姿勢がリアル高につながったものの、政治的な不透明感や米国のテーパリング（量的緩和の縮小）観測から、米ドル買いが優勢となったことなどを背景にリアルは軟調な展開となりました。財政規律に対する懸念などもレアルの重しとなりました。

期の半ばは、オミクロン株に対する懸念による投資家のリスク回避姿勢や米国のテーパリングの加速が意識されたことなどによりリアルは軟調に推移しましたが、オミクロン株に対する過度な懸念が和らいだことや、BCBの利上げ継続姿勢が改めて認識されたことなどにより、リアルは上昇基調となりました。

期の後半は、ウクライナ情勢の悪化により、グローバルでリスク回避の動きが強まったことなどは、リアルにマイナスに影響しましたが、資源価格の上昇によりさらなる利上げが意識されたことや、米ドル・円相場で米ドル高・円安が進行したことなどから、リアルは対円で堅調に推移しました。

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年9月14日～2022年3月14日）

当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

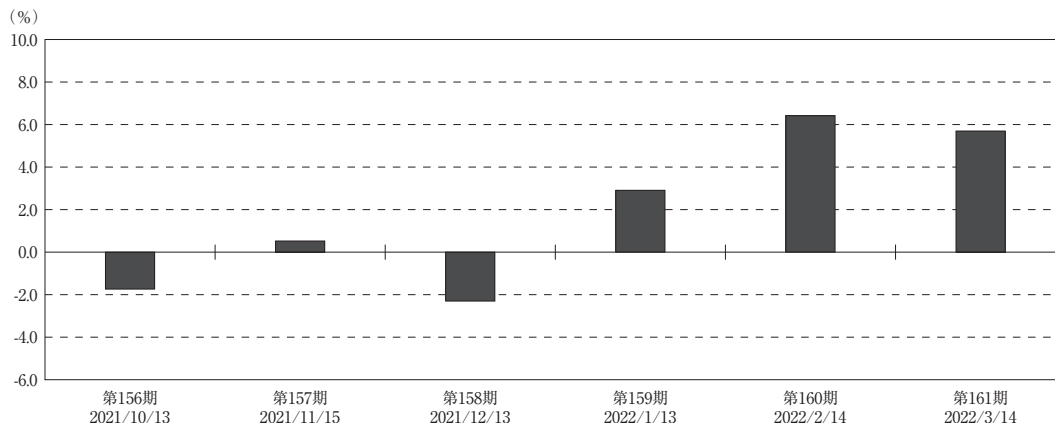
## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年9月14日～2022年3月14日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

**分配金**

（2021年9月14日～2022年3月14日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2021年9月14日～ 2021年10月13日	2021年10月14日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月13日	2021年12月14日～ 2022年1月13日	2022年1月14日～ 2022年2月14日	2022年2月15日～ 2022年3月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.520%	15 0.520%	15 0.536%	15 0.523%	15 0.494%	15 0.470%
当期の収益	13	14	12	15	15	15
当期の収益以外	1	0	2	－	－	－
翌期繰越分配対象額	201	201	198	203	213	221

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。



## お知らせ

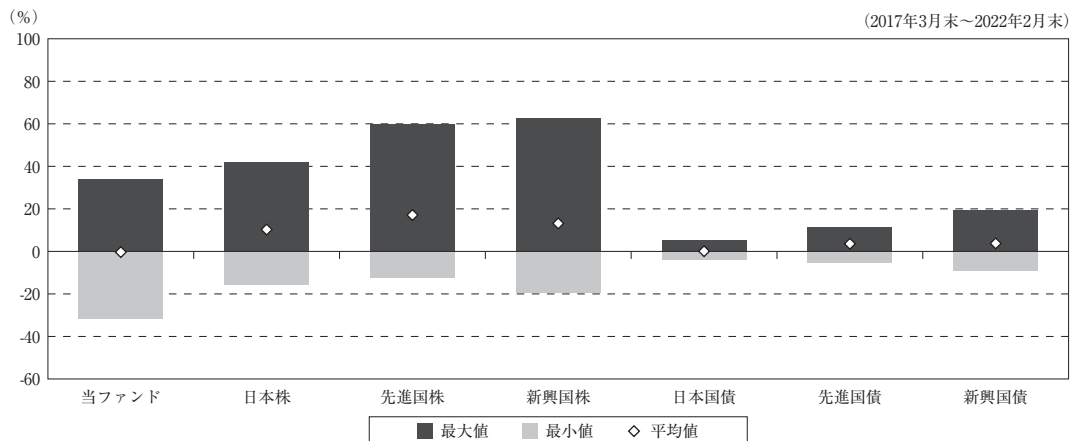
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.2	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 31.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 5.4	△ 9.4
平均値	△ 0.3	10.3	17.1	13.2	0.1	3.6	3.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年3月から2022年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### (※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2022年3月14日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第161期末
LM・ブラジル国債マザーファンド	100.6%
組入銘柄数	1銘柄

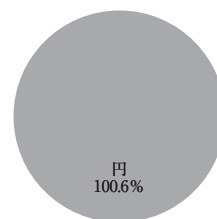
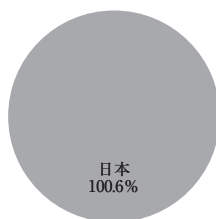
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
	2021年10月13日	2021年11月15日	2021年12月13日	2022年1月13日	2022年2月14日	2022年3月14日
純資産総額	23,754,890,506円	23,096,212,453円	21,878,701,420円	21,838,333,544円	22,727,588,250円	23,687,021,747円
受益権総口数	82,863,644,336口	80,571,061,599口	78,528,555,344口	76,561,931,088口	75,257,214,989口	74,549,475,468口
1万口当たり基準価額	2,867円	2,867円	2,786円	2,852円	3,020円	3,177円

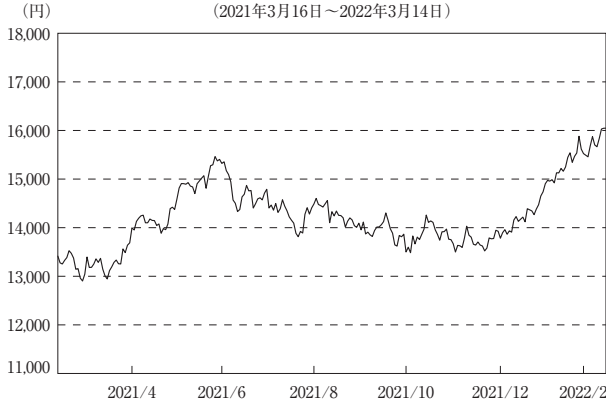
\* 当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は1,103,944,456円、同解約元本額は10,243,985,847円です。

組入上位ファンドの概要

L M・ブラジル国債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2021年3月16日～2022年3月14日)



【1万口当たりの費用明細】

(2021年3月16日～2022年3月14日)

項 目	期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	21 (21)	0.149 (0.149)
合 計	21	0.149

期中の平均基準価額は、14,287円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2022年3月14日現在)

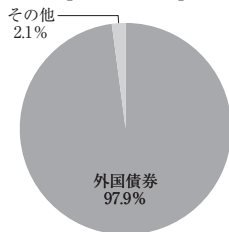
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	BRAZIL-NTN-F-10% (NOTA TESO N10% 2023/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	53.8
2	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2022/7/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	35.2
3	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2022/4/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	8.9
4	BRAZIL-NTN-F-10% (NOTA TESO N10% 2025/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.0
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
	組入銘柄数		4銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

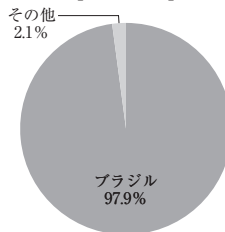
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

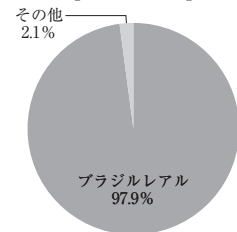
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。